

区民と区長のタウンミーティング（2023年12月21日開催）

テーマ：令和6年度予算で検討中の主な取り組み（案）

開催月日	区 民 の 意 見（趣 旨）
12月21日	今の学校のあり方に子どもたちが不登校になる理由があるのではないかと。子ども目線で学校のあり方をゼロベースから考える取り組みが必要ではないかと。
12月21日	不登校支援の目的は、子どもを登校させる事ではなく、将来的に子どもたちが社会で自分らしく生きていくことだと思う。学校・集団への適応という視点は考え直してほしい。加えて、子どもの不登校は保護者の孤立につながっているため、その視点を含めて支援をしてほしい。
12月21日	スクールカウンセラーが増えるということだが、アウトリーチを検討してほしい。子どもが不登校になっている保護者の話を聞くと、学校から何も連絡がなく残念に感じているという方も少なくない。カウンセラーと学校の連携を緊密にするほか、カウンセラーが保護者に向けてアプローチすることも考えてほしい。
12月21日	コミュニティ・スクールでは誰がメンバーで、どんなことが話し合われているか、地域に情報が出ておらず、地域に開かれているという印象を受けない。地域からの意見を反映した運営を考えてほしい。

開催月日	区 民 の 意 見 (趣 旨)
12月21日	学校から配布されたタブレット端末にYouTubeなどアプリが入っているが、利用の制限は各家庭に任されている。学校でネットリテラシーをしっかりと教育してほしい。
12月21日	鷺の杜小学校の開校にあたって、西武新宿線の南側から、踏切をわたって登校する生徒が多くなる。特に登校時間中は遮断時間が長い、短い時間に多くの歩行者がわたることになり、とても危険である。踏切の拡幅について西武鉄道へ打診するほか、早急に跨線橋整備の検討をしてもらいたい。
12月21日	初産の親はいつ、どんな事業を受けられ、どんな情報を得ればいいのか分かりづらい。ホームページに時系列で整理されているとわかりやすいと思う。また、各産前産後サポートの事業は、往復はがきや電話で申し込むことになっている。webを利用した申し込みも可能にしてもらいたい。
12月21日	子どもが6か月を超えるとデイケアが使えなくなり、1年を超えると助産師訪問も利用できなくなってしまう。「切れ目のない支援」とは言っても、子どもが1歳を過ぎると支援が切れてしまっている。また、第二子以降の子どもに対する支援が少ないのではと感じる。
12月21日	シングルマザーや困難を抱える方にとって、各種講座に参加しづらいと感じることがある。誰にとっても参加しやすい事業にしてもらいたい。

開催月日	区 民 の 意 見 (趣 旨)
12月21日	江古田地域に子どもの居場所がないと感じている。みずの塔ふれあいの家があるが、小学生の足では少し遠く、行きづらい。週に1日、出張児童館のような形で、区民活動センターを子どもの居場所として活用することはできないか。
12月21日	今の家庭環境では、子どもたちが畳や座布団にふれる機会が少ない。高齢者会館にある畳のスペースを残し、子どもが遊ぶ場所としての活用方法を考えてほしい。
12月21日	地域包括支援センター・社会福祉協議会の体制強化とあるが、福祉関係の仕事は近年人手不足が叫ばれている。担い手の確保が難しい中、人員をどのように確保していくのか。
12月21日	国民健康保険加入者の健康診断について、他区に住んでいたときは少額の自己負担で健康診断を受けられていた。中野区では対象年齢に当てはまらず、受診できていない。35歳未満の加入者も受けられるよう、対象の拡大をお願いしたい。